

第3話「白雪姫 | 裁判

論点表(裁判長の手持ち資料)

年 組 名前

裁判長は、グループ内の討論で、以下の論点が議論されたかチェックして下さい。

白雪姫

- ・王妃が白雪姫の美しさに嫉妬し、小さい頃からいじめ続けていたということについて
- ・「リンゴ売りのおばあさんの高笑いの声が王妃だった」という白雪姫の発言について
- ・「高笑いを聞いた時、意識がもうろうとしている状態だったのにまともな判断ができたのか」という 弁護人の疑問について
- ・弁護人の答えた白雪姫の「王子には事件の時に初めて会った」という発言について

狩人

- ・「かつて王妃に白雪姫殺害を命じられた」という狩人の発言について
- ・事件の3日前に、森で白雪姫が若い男性とおしゃべりをしていたという狩人の発言について
- ・そのおしゃべりしていた男性が、もしかしたら王子かもしれないという事実について

王妃

- ・犯行に使われたリンゴには、王妃の指紋はなかったという事実について
- ・犯行に使われたケープと付け鼻には、王妃の指紋があったという事実について
- ・「事件の日は、眠り薬を飲まされたように朝までぐっすり眠っていた」という王妃の発言について
- ・「寝ている間に誰かが部屋に忍び込んで、部屋からケープと付け鼻を持ち出した」という王妃の発言に ついて
- ・「はめたのは、白雪姫とお城の人」だという王妃の発言について
- ・「もしかしたら、王子も白雪姫の仲間だったのかもしれない」という裁判員まみの考えについて
- ・王妃のアリバイを証明できる人はいないということについて
- ・王妃は、「好きではない」と語るリンゴを、パソコンで検索し取り寄せていたということについて
- ・「実はリンゴが大好き」という王妃の発言について